

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 20 日

仕 事 の 内 容	道路角切買収事業					
担当部署・課長名	土木	課	土木	係	課長名	寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	4 - 4	-
【施策名】 道路・交通の整備	総 合 計 画 書 (ページ)	89	

予算名	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 1	道路維持費	事業 4	道路補修事業費
-----	-----	-----	-----	---------	-----	-------	------	---------

1	こ の 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		通行車両、沿線住民及び通行者	→ 道路交差点における視距の不良箇所数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		交通の安全対策として交差点の視距を改良し、事故防止を図る。	→ 設置済件数
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		交差点に角切が無い危険箇所に交通の安全確保として土地を買収し、角切を設置して視距を改良。	→ 角切設置件数

2	指 標 の 推 移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値		-	-	-	/	/
		成果指標	②の数値		-	-	-	/	/
		目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方							
		活動指標	③の数値	0	0	0	/	/	

3	経 費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財 源	一般財源		円	0	0		0
			特定財源		円	0	0		0
			(うち受益者負担)		円	0	0		0
		人 件 費 (目 安)	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1		0.1
			所要人数(再任用)		人	0.0	0.0		0.0
職員人件費(再任用以外)			円	826,700	825,300	824,400			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	826,700	825,300	824,400				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環 境 変 化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
		開始時期：昭和50年代 開始理由：角切が無い箇所が多く、危険であるとの苦情が寄せられたこと及び道路整備において交差点の視距を図る。	
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
		環境の変化：交通量の増加、住宅の増加	

仕 事 の 内 容	道路角切買収事業			
担当部署・課長名	土木	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	市民から通行車両、自転車及び歩行者が交差点で危険を感じており、安全対策が求められている。	

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容	
	交通安全を図るため、道路交差点において角切を設けることが望ましいが、すべての交差点に設置することは地権者の協力が必要なことから難しい状況である。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 地権者の置かれた状況に合わせ、ブロック塀や汚水柵の移設工事の提案を行い、承諾を得られやすくした。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題		
地積修正や測量等で地権者が支払う費用が買収金額を上回ってしまい、承諾が得られなかった。		

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	道路新設時や土地の売買又は建て替え時に角切確保の用地折衝を行う。なお、建築基準法に適合した角切場所は実施済とする。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	建築確認事務の取扱いを行っていないため、角切確保の折衝時期の把握が難しい。 市が積極的にただ土地を買収するだけでなく、土地の取得方法について検討する必要がある。 また、角切のない交差点で危険と思われる箇所を再調査する必要がある。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。